

学習研究 目次 第二九九号

校長歳時記(1) 小林 篤 (4)

主題 けいこ学習の新しい展開 I

「詩の世界へ」(六年)の教材分析 千代 宏 (8)

教材について聞く 杉浦正勝 (14)

—「問題を作ろう」の背景にあるもの—

自己学習能力を育てる体育学習 浜田東起夫 (20)

「ひびき読み」学習成立の要件(X) 尾石忠正 (26)

実践

歴史学習 その実践上の疑問と提言 相部芳徳 (34)

「植物の育ち方の研究」の学習 中谷内政之 (40)

音楽鑑賞会 後藤充郎 (46)

—インド音楽を聴く—

だから、なかよし 大江康夫 (52)

■教師の日記 「保健の先生はほんとうの先生？」 矢田留美子 (32)

■子ども記 春は、そこまで 奥野 順 (58)

〈実践寄稿〉

一人ひとりを生かす 川端良幸 (60)

「わかる授業」をめざして

—四角形と三角形の面積(五年)—

〈特別寄稿〉

遠目と近目 鈴木八郎 (65)

通信 口絵写真……大江・中谷内 (70)

あとがき 序 同……梶田 萬理子 (71)

表紙・カット……守折 夫

学習研究 目次 第二九八号

飛鳥の流れ(二) 武久義彦 (4)

「しごと学習の新しい展開」

しごと学習 相部芳徳 (8)

その新しい展開にみる特色

歴史との対話 大津昌昭 (14)

「ひとり学習」を育てる 中谷内政之 (20)

——單元「日本の農業」を通して——

しごと学習の底流 奥野順 (26)

——まよい・さぐり・うなずき——



小学校でパソコンを利用する 久安敏男 (34)

ときのプログラム

「ひびき読み」の学習活動(IX) 尾石忠正 (40)

『文楽』の学習 嶋守哲夫 (46)

——グループなかよしの活動実践から——

「生野菜の調理」の学習を通して 能多宏子 (52)

——五年生のとりくみ——

■教師の日記 残洋の記録 千代宏 (32)

■子ども記 「わかった」ということ 齋藤一之 (58)

〈実践寄稿〉

自ら研究し考えを深める児童
を育てる社会科学習 神代明 (60)

——三年「わたしたちのくらしと商店街」の実践——

〈特別寄稿〉

このごろ思うこと 平野朝久 (65)

通信 口絵写真……大江・中谷内 (70)

あとがき 序 同……江康夫 (71)

表紙・カット……嶋守哲夫

学習研究 目次 第二九七号

飛鳥の流れ 武久義彦 (4)

主題

学習法における教師の役割(2)

伝記「田中正造」の教材分析 千代宏 (8)

教師は何をなすべきか 久安敏男 (14)

学習の深化にさおさす 相部芳徳 (20)

教師のカジとり 大江康夫 (26)

実践

パズルする教材の意味 齋藤一之 (34)

目標をめざして 浜田東起夫 (40)

「二つの花」を読む 梶田萬理子 (46)

子どもの健康問題を探る(Ⅱ) 矢田留美子 (52)

—定期健康診断の結果から—

■教師の日記 白墨の粉 岩井邦夫 (32)

■子ども記 若芽が伸びる 尾石忠正 (58)

〈実践寄稿〉

子どもが楽しく活動する 指導のあり方を求めて 総谷裕彦 (60)

—じゃがいもの育ち(四年)—

〈特別寄稿〉

学業不振児に関する 玉瀬耕治 (65)

最近の実験的研究

通信 (70)

あとがき (71)

口絵写真……大江・中谷内
序 同……後藤充郎
表紙・カット……守哲夫

初瀬川と寺川 武久義彦 (4)

主題

学習法における教師の役割(1)

物語「やまなし」の教材分析 千代 宏 (8)

授業における教師の役割 杉浦正勝 (14)

授業構想力をつける 尾石忠正 (20)

幅広い音楽観に迫る 子どもを育てる 後藤充郎 (26)

実践

合奏曲「剣の舞」の授業 大津昌昭 (34)

「電気のはたらき」の授業(Ⅱ) 中谷内政之 (40)

授業への参加 奥野 順 (46)

—S君にとつてのなぜ—

二年生をこう育てたい 岩井邦夫 (52)

■教師の日記 「合科」の足をひっぱるのは、誰だ? 相部芳徳 (32)

■子ども記 芦田君の輝き 嶋守哲夫 (58)

〈実践寄稿〉

授業と授業をつなぐ子ども 辻 民子 (60)

—四年社会科「わたしたちのくらしと下水道」の学習を通して—

〈特別寄稿〉

いじめの構造 高橋史郎 (65)

あとがき (71)

口絵写真……大江・中谷内
序 同……久安敏男
表紙・カット……嶋守哲夫

条理地割を空中写真に読む 武久義彦 (4)

主題 伸びていく子ども

子どもごころ—その人間性を— 千代 宏 (8)

伸びていく子ども —自由研究に打ち込む子どもの意欲— 久安敏男 (14)

数理的な考えを自らに培う 齋藤一之 (20)

この子の成長 大津昌昭 (26)

実践

マットを使う運動 浜田東起夫 (34)

「自分の読み方」吟味の具体 尾石忠正 (40)

(やまなし)(Ⅷ)

音楽学習への新しいアプローチ 後藤充郎 (46)

作文指導、この一年 梶田萬理子 (52)

■教師の日記 大台ヶ原へ行く 中谷内政之 (32)

■子ども記 この子どもで生きている 大江康夫 (58)

実践寄稿

子どもの活動を重視して本質に迫る低学年理科の授業 木村隆吉 (60)

—電球に明かりをつけよう(二年)—

特別寄稿

世相の推移 —どぶ掃除人の回想— 重松鷹泰 (65)

通 信 (70)

あとがき (71)

口絵写真……中谷内・大津
序 同……嶋守哲夫
表紙・カット……嶋守哲夫

平城京城南部を地形図に見る 武久義彦 (4)

主題

ひびきあう学習

ひびきあえる学級をつくるには 杉浦正勝 (8)

ひびき合う学習を考える 大津昌昭 (14)

ひびきあう学習 奥野順 (20)

心が響き合う劇学習 岩井邦夫 (26)

実践

小学校でコンピュータを
どのように利用したらよいか 久安敏男 (34)

「電気のはたらき」の授業(上) 中谷内政之 (40)

子どもの健康問題を探る 矢田留美子 (46)
—校内で発生したけが・病気の統計から—

民話 吉四六話を通して (四年) 能多宏子 (52)

■教師の日記 時の流れ 尾石忠正 (32)

■子ども記 ビートルズ現象 後藤充郎 (58)

〈実践寄稿〉

自己実現をはかる低学年の教育 青柳睦 (60)
—「おおかあさん」の実践。絵本「おおかあさん」作りを通して

〈特別寄稿〉

科学的思考という名の学力 船元重春 (65)
—その育成のために—

あとがき (71)

口絵写真……中谷内・大津
序 桐……相部芳徳
表紙・カット……嶋守哲夫

平城京城を地形図にみる 武久義彦 (4)

主題 自立的な学習

自立的な学習に期待しての 千代 宏 (8)

狂言「附子」(六年)の教材分析 齋藤 一之 (14)

自主的学習と作業学習 —作業学習を深める指導の要件— 尾石 忠正 (20)

読みの自立 (Ⅵ) 嶋守 哲夫 (26)

子どもの自立と個性 相部 芳徳 (34)

子どもがつくり出す学習 (三) —「森林とわたしたちのくらし」の実践— 奥野 順 (40)

実践

わたしのおかあさん 岩井 邦夫 (46)

「ぼくたちの忍法」 わたしたちの忍法」の学習(年) —基本の運動とゲームの一体化をめざして— 大江 康夫 (52)

豊かな発想を引き出すために(二) —空間スケッチをとり入れた指導実践— 後藤 充郎 (32)

■教師の日記 「雲南省の民族芸能」 —昆明と石林を訪ねる— 梶田 萬理子 (58)

■子ども記 安規子ちゃん 長田 裕司 (60)

〈実践寄稿〉 子どもの欲求・実態に即した授業づくり —ハンドボール(五年)の実践から— 杉峰 英憲 (65)

〈特別寄稿〉 人間性の開発 通 信 (70)

あとがき (71)

口 絵 写 真……中谷内・大津
序 同……杉浦正勝
表紙・カット……嶋守哲夫

昭和中葉地図作り私史 (三)

武久義彦 (4)

主 題

子どもがつくり出す学習

子どもがつくり出す学習

久安敏男 (8)

子どもがつくり出す学習

—学習の姿と教師の役割—

相部芳徳 (14)

「子どもが創る学習」を問う

杉浦正勝 (20)

「物が燃えるときの変化」の授業

中谷内政之 (26)

実践

落ち葉の表現

浜田東起夫 (34)

臨海における

—自由研究班の活動

後藤充郎 (40)

文学作品を読む力を高める

—「手ぶくろを買いに」(三年)—

梶田萬理子 (46)

アニメーションづくり

—造形グループの活動から—

鳴守哲夫 (52)

■教師の日記 ひとり旅

能多宏子 (32)

■子ども記 球技大会

大津昌昭 (58)

〈実践寄稿〉

個性をみかく算数学習

中島繁雄 (60)

—正比例(六年)—

〈特別寄稿〉

音楽教育の展望

千成俊夫 (65)

—教育の危機的状況をめぐって—

通信

(70)

あとがき

(71)

口絵写真……中谷内・大津
序 詩……千代 宏
表紙・カット……鳴守哲夫

昭和中葉地図作り私史 (二) 武久義彦 (4)

主題 子どもを生かす授業

子どもを生かす授業 千代 宏 (8)

子どもを生かす体育授業 浜田 東起夫 (14)

子どもが生かされる授業 奥野 順 (20)

—その土壌づくりについて—

お互いを生かす学習集団 梶田 萬理子 (26)

実践

つくることによる図形指導 齋藤 一之 (34)

—四年・四角形—

教育実習生と学校保健 矢田 留美子 (40)

豊かな発想を引き出すために (一) 大江 康夫 (46)

—空間スケッチへの道すじ—

子どもを生かす授業 能多 宏子 (52)

—わたしたちのくらしと水 四年—

■教師の日記 写生会 大津 昌昭 (32)

■子ども記 打ちこんだかいこの観察記録 久安 敏男 (58)

〈実践寄稿〉

音楽教育の現代化を目ざして 奥谷 忠彦 (60)

—教室音楽からの脱皮—

〈特別寄稿〉

飛騨三大樹の一、三枝村の大樺 梁瀬 健 (65)

通：信 (70) 口絵写真……中谷内・大津
あとがき (71) 序 同……岩井邦夫
表紙・カット……嶋守哲夫

学習研究 目次 第二九〇号

昭和中葉地図作り私史 (十) 武久義彦 (4)

主題 たくましさのある子ども

学習にたくましく 相部芳徳 (8)

挑みかかかっていく子ども 尾石忠正 (14)

心静かなたくましさ 後藤充郎 (20)

歌で育つたくましい子ども 鳴守哲夫 (26)

たくましさを育てる造形表現活動

実践

子どもが創る算数の学習の実際 杉浦正勝 (34)

—— もんだいをつくらう(二年) ——

「みんな」の発見 大津昌昭 (40)

—— 合奏「汽車は走るよ」(五年)をとおして ——

動的に展開する授業づくり 中谷内政之 (46)

「ぼくの忍法わたしの忍法」の学習 岩井邦夫 (52)

—— 基本の運動・二年 ——

■教師の日記 今なぜ作業学習を 齋藤一之 (32)

■子ども記 子どもの眼・しごとの芽 奥野順 (58)

〈実践寄稿〉

ひとりひとりを伸ばす 浅野美智子 (60)

国語科学習指導

〈特別寄稿〉

槇山榮次の教育学のこと 山田昇 (65)

通信

あとがき (71)

口絵写真……中谷内・大津
序 詞……浜田東起夫
表紙・カット……守哲夫